

留学報告書

記入日：2026年5月8日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 経営学科
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
留学先国	カナダ
留学期間	2025年9月～2026年4月
留学時の学年	3年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2026年4月26日
明治大学卒業予定時期	2027年3月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：University of Victoria 和文：ヴィクトリア大学
所属学部またはコース名	経営学部
キャンパスの所在地	3800 Finnerty Road, Victoria, BC, V8P 5C2 Canada
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦（Academic Year）	春学期：1月～4月（期末試験期間：4月7日～4月21日） 秋学期：9月～12月（期末試験期間：12月9日～12月23日）
所属学部の学生数	1300人
留学生の割合	14%

留学にかかった費用			
項目	現地通貨（）	円	備考
授業料	0	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	\$ 10,700	1,236,000円	一ヶ月：\$ 1330
食費	\$ 4,000	462,000円	一ヶ月：\$ 500
通学費	\$ 500	58,000円	一ヶ月：\$ 62.5
学校用品	\$ 300	35,000円	
教養・娯楽費	\$ 500	58,000円	
被服費	\$ 50	6,000円	
医療費	\$ 0	0円	
保険費	\$ 1,300	150,000円	保険会社：東京海上日動、ヴィクトリア大学、ブリティッシュコロンビア州
渡航費	\$ 2,600	300,000円	
旅行費	\$ 4,750	549,000円	留学中に旅した国：カナダ、アメリカ
語学学校	0	0円	授業料： 宿泊費：
奨学金/助成金	\$ 10,200	1,180,000円	奨学金：1,180,000円 助成金：
その他	0	0円	
合計	\$ 14,500	1,674,000円	(奨学金を差し引いた合計額)

渡航について

ヴィクトリア大学の経営学部に日本人の職員さんがいたため、その方に相談していた。	
4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない	
5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？	
情報収集	<input type="checkbox"/> 現地コーディネーター <input type="checkbox"/> 友人 <input checked="" type="checkbox"/> ネット（参考サイト： <input checked="" type="checkbox"/> その他（大学のオリエンテーション）
防犯対策	危険な地域には近づかない。
6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
7) 6で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？	
8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？	
パソコン	国内と同様。
インターネット	キャンパスとアパートのWiFiを利用していた。問題なかった。
携帯電話	Koodoを利用していた。
9) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。	
現地で銀行口座を開設し、クレジットカードを利用していた。友人と割り勘をする際に、銀行振込を多用していたため、とても便利だった。 家賃は親のクレジットカードを使用して払っていた。生活費は、現地の口座に一気に振り込んだ。	
10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。	
マスク、常備薬	
進路について	
1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？	
まだどこに進むかは決まっていなかったが、留学中にボストンキャリアフォーラムに参加し、いつか内定をいただくことができた。	
3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。	
内定時期	2025年11月末
企業名	(差支えなければご記入ください)
業界	非鉄金属・電線業界
その企業或いは業界を選んだ理由	グローバルでの売上比率が高く、英語を活かして働ける環境があると考えた。 また、AIブームにより今後も成長が見込まれるため。
4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。	
ボストンキャリアフォーラムへの参加をお勧めする。また、留学開始前から準備を進めておくこと留学との両立もできると思う。	
5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。	
進学先決定時期	
進学先	(差支えなければご記入ください)

その進学先を選んだ理由	
6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします（試験対策など）。	
7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。	
英語を話せるようになったことにより、将来の選択肢が大きく広がった。	

留学に関するタイムチャート

2024年9月～11月 募集要項公開～選考試験日	資格取得、書類作成、面接練習
2024年12月～ 2025年4月 合格発表後～出願準備期間	語学学習
2025年5月～7月 出願後～渡航の準備	ビザの申請、航空券の予約、英会話の練習
2025年8月 留学開始直前	荷物整理
2025年9月 留学開始	オリエンテーション、勉強
2025年9月～12月 留学中	勉強、中間試験、Reading Break
2025年12月 留学中	期末試験、冬休み

課外活動について教えてください。
たくさんのサークルがあり、友人の影響で台湾クラブに所属していました。加えて、サッカーチームにも所属しており、様々な活動を通して現地の学生と交流することができました。また、カナダやアメリカなどいろいろなところに旅行しました。
一日の課題の量を教えてください。
履修した授業の関係もあり、課題はそこまで多くなかったです。しかし、授業はもちろん英語で行われるため、授業についていくために予習をしていました。
期末試験について教えてください。
期末試験は、オンラインでの試験と対面での試験と、試験の代わりにプレゼンテーションを行う事業がありました。しっかり対策をすれば問題なく単位を取得できました。
留学先で直面した困難（壁）について教えてください。
英会話の練習が足りておらず、授業はもちろん最初は日常会話について行くことも難しかったです。しかし、できるだけ英語の場にいることを意識し、積極的に友人と出かけたり、イベントに参加したりしました。
これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。
留学は人生を大きく変えてくれると思います。英語が話せるだけで世界中の人と交流できますし、人生がより豊かになることは間違いありません。今、英語が話せない状態でも1年間留学に行けば話せるようになると思うので、とにかく要件だけ満たして飛んでいってください。応援しています。

	かけにもなった。また、漢字を理解できる日本人にとっては取り組みやすい内容であり、友人作りの面でも履修して良かった授業だった。
履修した授業科目名③	
PAAS181 Modern Japanese Culture	
科目設置学部	Department of Pacific and Asian Studies
履修期間	2025 年秋学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 3 回
担当教授	ann-elise Lewallen
授業内容	20～21 世紀の日本文化を対象に、戦争記憶、技術、公害、民族・ナショナリズム、ジェンダー、ポップカルチャーなどを題材として、文化が社会批評や社会変化にどのように関わってきたかを考察する授業。
試験・課題など	授業参加・出席、毎週の Discussion note 提出、2 本の Book Review Essay、Group video essay、2 回の Quiz、期末試験で評価された。
感想を自由記入	当初想像していた日本文化とは異なる内容も多かったが、ある程度知識のある分野であったため、比較的理解しやすかった。また、日本に関心を持つ学生が多く集まっていたため、授業内外で交流する機会が多く、友人作りの面でも非常に有意義な授業であった。
履修した授業科目名④	
PAAS252 Pop Cultural Asia	
科目設置学部	Department of Pacific and Asian Studies
履修期間	2025 年秋学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 50 分の授業が週 3 回
担当教授	Angie Chau
授業内容	アジア各国・地域の現代ポップカルチャーを扱い、映画、音楽、ファッション、SNS などの事例を通じて、グローバル化、文化移動、恋愛、社会運動、オンラインコミュニティ、文化的アイデンティティ、移民・ディアスポラなどを批判的に考察する授業。
試験・課題など	授業参加、グループ発表、中間試験、グループでの Asian pop culture campaign project、最終リフレクションで評価された。
感想を自由記入	ポップカルチャーを題材に、周囲の学生と議論する機会が多く、明確な正解がない内容であったため、自分の意見を気軽に交換することができた。一方で、自分が普段いかに物事に対して深く意見を持っていないかを実感する授業でもあった。また、アジアに関心を持つ学生が多く、友人作りの面でも役立った。
履修した授業科目名⑤	
COM202 Financial Accounting I	
科目設置学部	Gustavson School of Business
履修期間	2026 年春学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません

授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回50分の授業が週3回
担当教授	Jennifer Reed
授業内容	財務会計の入門科目として、財務諸表の基本概念、会計処理の仕組み、IFRSを前提とした財務報告、資産・負債・資本・キャッシュフローなどについて学ぶ授業。
試験・課題など	毎週のHomework提出、中間試験、Term Assignment、出席・参加評価、期末試験によって評価された。
感想を自由記入	日本で学んできた簿記の知識を活用できたため、内容には比較的取り組みやすかった。一方で、日本の授業とは異なり、学んだ知識を実践的に応用する場面が多かったため、財務会計への理解をより深めることができた。
履修した授業科目名⑥	
COM203 Introductory Business Topics : Business in the Age of AI: Intro to Information Systems	
科目設置学部	Gustavson School of Business
履修期間	2026年春学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回50分の授業が週3回
担当教授	Jenna Mehlmann
授業内容	情報システムとAIの基礎を学び、企業や社会における技術・データ・意思決定の関係を理解する授業。
試験・課題など	4回のオンラインQuiz、チームでのケース分析、最終プロジェクトで評価され、期末試験はなかった。
感想を自由記入	最新の情報システムやAIの仕組みに加え、それらをビジネスにどのように活用するかという視点まで学ぶことができ、非常に興味深かった。また、グループプロジェクトでは授業での知識をフルに活用する必要があったため、予習復習にいつも追われていた。
履修した授業科目名⑦	
PAAS153 Chinese Food Culture	
科目設置学部	Department of Pacific and Asian Studies
履修期間	2026年春学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回50分の授業が週3回
担当教授	Ben Pin-Yun Wang
授業内容	中国料理の歴史、主要食材、地域差、飲食作法、祝祭と食、食と言語、食と健康、映画・メディア表象、世界に広がる中国食文化などを学び、食と文化・社会の関係を考察する授業。
試験・課題など	授業参加・貢献、オンラインディスカッション3回、Review Test 3回で評価され、期末テストの代わりに動画プロジェクトを提出した。
感想を自由記入	授業では中国の様々なお菓子が紹介され、実際に食べる機会もあったため、毎回楽しみに出席していた。また、留学中は安くて量の多い中華料理を食べる機会が多かったため、その背景にある歴史や文化を学べた点が面白かった。最終プロジェクトでは、友人と中華料理を作る動画を作成し、良い思い出にもなった。
履修した授業科目名⑧	

PHIL201 Critical Thinking	
科目設置学部	Department of Philosophy
履修期間	2026 年春学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 50 分の授業が週 3 回
担当教授	Dr. C. Klatt
授業内容	演繹法・帰納法・非形式的誤謬など、議論を評価するための論理学・批判的思考の基礎を学ぶ授業。
試験・課題など	13 回のオンライン Quiz、3 回の Test で評価された。
感想を自由記入	英語で論理的に説明するための基礎を学ぶことができたため、英語力の向上にも役立った。オンラインの講義ではあったが、履修者同士で集まり勉強する機会も設けられていた。